

外観



現代感覚と和が調和した婚礼ステージ、若宮の杜迎賓館。旧帝国ホテルをイメージして作られたレンガ造りで、隣接する若宮八幡社との調和が図れている。

内観



エントランスロビーの階段(左上)、大宴会場「橘の間」(右上)、中庭に面した「中庭カフェ」(左下)、中宴会場「桜の間」(右下)。ネオクラシックのコンセプトに基づいた、落ち着いた雰囲気の空間。

プライズルーム



結婚式の衣装に着替えるための部屋。唐草模様のカーペットが空間の個性を彩り、ゆったりとしたスペースを確保している。

プライズルーム トイレ



ウエディングドレスや着物に着替えた後でも利用できるように、ゆったりとしたスペースが確保された洗面カウンター付きのトイレ。

1F 男性トイレ



エントランスロビーに面した1Fのトイレは、入口もトイレ空間も気品と格調にあふれている。大便器は、ローシルエットタイプのフラッシュタンク式大便器を採用。

1F 多機能トイレ



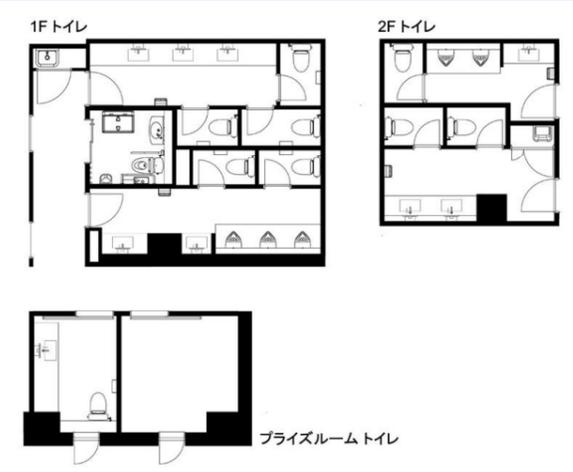
多機能トイレは、車いす使用者のほか、小さなお子様連れのお客様に配慮し、ベビーシートとベビーチェアを備えている。

2F 従業員用トイレ

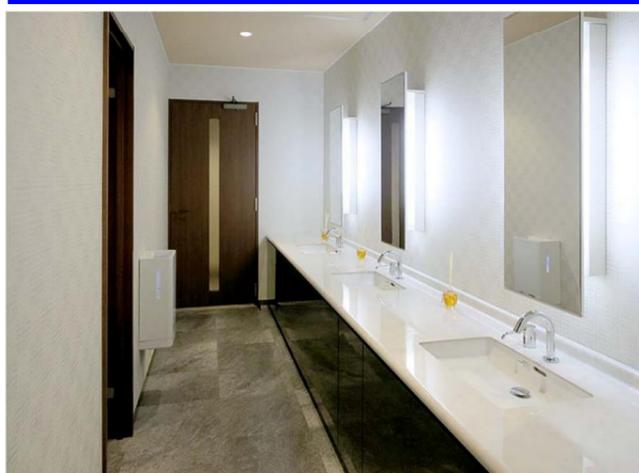


衛生面に配慮し、ノンタッチで手洗いができるように、洗面器には自動水栓とオートソープディスペンサーを設置している。

トイレ図面



1F 女性トイレ



落ち着いた利用できるように洗面器の間隔を広げた洗面コーナー。手洗いから乾燥までノンタッチで行うことができるように、自動水栓とオートソープディスペンサー、クリーンドライを設置している。

2F 男性トイレ



2Fのトイレは1Fのトイレと異なり、ベージュ・グレー系でコーディネートされた優しい雰囲気の空間となっている。

建築概要

名称	若宮の杜 迎賓館
所在地	愛知県名古屋市中区栄三丁目35-30
発注者	若宮八幡社
工事監理者	株式会社山下設計
設計施工者	三井住友建設株式会社
竣工年月	2015年3月

水まわりの特長

<施設の概要>

名古屋の迎賓館として歴史と伝統を誇る「名古屋観光ホテル」と尾張名古屋の総鎮守として由緒ある「若宮八幡社」のコラボレーションから誕生した「若宮の杜 迎賓館」。運営は、株式会社名古屋観光ホテルが当たり、若宮八幡社での神前挙式後、隣接する披露宴会場で、上質なおもてなしを提供。ホテル業のノウハウを活かした婚礼事業のほか、神社の行事と連動したさまざまな催事も行っている。また、神社を訪れる方々が気軽に利用できるカフェも併設。「緑豊かな都心のオアシス」として現代人の新たな集いと安らぎの場を目指している。

<水まわりの特長>

トイレも、ネオクラシックマリッジをテーマとする婚礼や催事にふさわしく、気品と落ち着きに満ちた空間を実現。また、1Fと2Fでは内装を変え、異なった雰囲気を演出している。大便器は、ローシルエットタイプのフラッシュタンク式大便器を採用。洗面コーナーは衛生面に配慮し、手洗いから乾燥までノンタッチで行うことができるように、自動水栓とオートソープディスペンサー、クリーンドライを設置。さらに身だしなみチェックに配慮して、化粧鏡は鏡に顔を近づけやすい間接照明付きの個別鏡を設置している。